

第3回THA連絡会 議事録

日時：2017年2月4日 10:00-12:00

場所：品川区総合体育館 B1 会議室

出席者：THA 正会員 42名、THA 役員 10名、委員 9名（以上重複含み）、合計実出席者 43名

議事：菅野理事の司会で開会した。

1. 和田会長挨拶

新生東京ホッケー協会は一昨年11月に発足しました。

その後、昨年1月には第1回連絡会を行い、4月には総会を開催し10月に2回目の連絡会を開き、今回が3回目の連絡会になります。現在の東京ホッケー協会は2020年の東京オリンピックに照準を合わせながら大井の2面と駒沢競技場の人工芝のグラウンドを活用し、ホッケーを生涯スポーツとするホッケー愛好家でこのグラウンドを埋め尽くす設計図を作成しています。

その設計図を作成している仮小屋には**1昨年「規約に則り、全員参加で、開かれた協会とする！」という安全旗、標語を立てました。**

作成中の設計図には我々の夢が描かれております。

新設された3つのグラウンドでは国際ホッケー大会は勿論、日本チームの強化合宿、東京都のチームも参加しているでしょう日本リーグ戦、大学或いは、高校生の大会、そして東京にも誕生したジュニア、シニアクラブが参加する大会が開催されることになっています。

今はその設計図を作成しながら基礎を打ち込んでいます。

その基礎は前回の総会で平成28年度の目標として3つの柱です。即ち

- 1 登録チームを増やしチームとの連携を図る。
- 2 THA、主催、共済の競技会を確実に運営する。
- 3 ホッケーの普及を図る。 という3本柱です。

基礎はある程度出来ました。平成29年度は設計図にある夢の御殿を作るための大きな、強固な支柱を立てようと思っております。その支柱はこの後、各担当者から説明させていただきますが、まだまだ脆弱です。是非強固なものにしたいと思っておりますので本日の説明会で皆様のご意見、アドバイスをいただき、2020年までに強固な柱を作りその後の飛躍へとつなげたいと思っておりますのでご協力を宜しくお願いいたします。

【表1】2017年度THA年度方針(案)

1. 東京の競技人口を増やす

- ・ 大学OB、特にシニア層に呼びかけ、交流戦を行なう等、生涯スポーツとしてのホッケーを目指す。
→ OB交流戦を発展させ、チーム数を増やし、地域に根付かせ、都民大会にする。
- ・ ジュニア(小・中学生)への普及活動と、それを発展させチームを結成する。
→ 品川区・大田区でのホッケー教室の中から、小・中学生チームを作る。
- ・ 他府県大学・高校でのホッケー経験者を発掘する。

2. 東京で大きな大会を開催する

- ・ 全国規模の大会を東京で開催し、多くの都民にホッケー競技の楽しさを知って欲しい。
→ 五輪施設完成までの間、駒沢球技場を生かす。
- ・ 全国規模の大会運営のノウハウを持つ人を育てる。
- ・ THAの競技役員資格者を増やす。

3. 東京のチームを強化する

- ・ 底辺、特に少年男女のレベルアップを図る。
→ 高校生向けのホッケークリニックを頻度・質ともに充実させる。
- ・ 強化・普及を含め、指導者層を充実させる。
- ・ 成年国体チームは日本リーグ出場を目指すといった長期的な視野を持って強化を図る。

2. 五輪施設の状況（一川理事）

(1) 駒沢球技場の現状について

◆駒沢球技場改修工事の状況

人工芝敷設は既に完了しており、防球ネット工事の完成を待つばかりとなっています。人工芝はサンドベースですが、ショートパイルのホッケーに適したものです。防球用として、ゴール裏に高さ10m以上、両サイドは高さ3mのネットが張られる予定です。東側には1,500人収容の観客席が設置されており、西側にも芝生席があります。付帯設備も180名収容の会議室、放送室等、十分に完備されており、数十台の大型バスが駐車可能な駐車スペースもあります。

◆駒沢球技場の今後の利用について

駒沢公園事務所より、今年1月5日期限で、都大会以上の大きな大会の優先申込み依頼があり、THAはJHA、日本リーグ機構、関東学連、日本社会人ホッケー連盟、都高体連専門部会と相談し、申込みを行いました。申込みにはサッカー、ラクロス、アーチェリー、テニス競技等が競合しています。

現時点では確定ではありませんが、駒沢公園事務所からは

- ・9月23日、24日 日本リーグ（男子決勝戦・3位決定戦、準決勝、入替戦）
- ・9月18日 都高校選抜大会
- ・11月11日・12日 関東社会人リーグ戦

以上はほぼ確実な見通しとされています。関東学連のリーグ戦もかなり日程に入れていただける見込みで、最終確定は2月8日です。



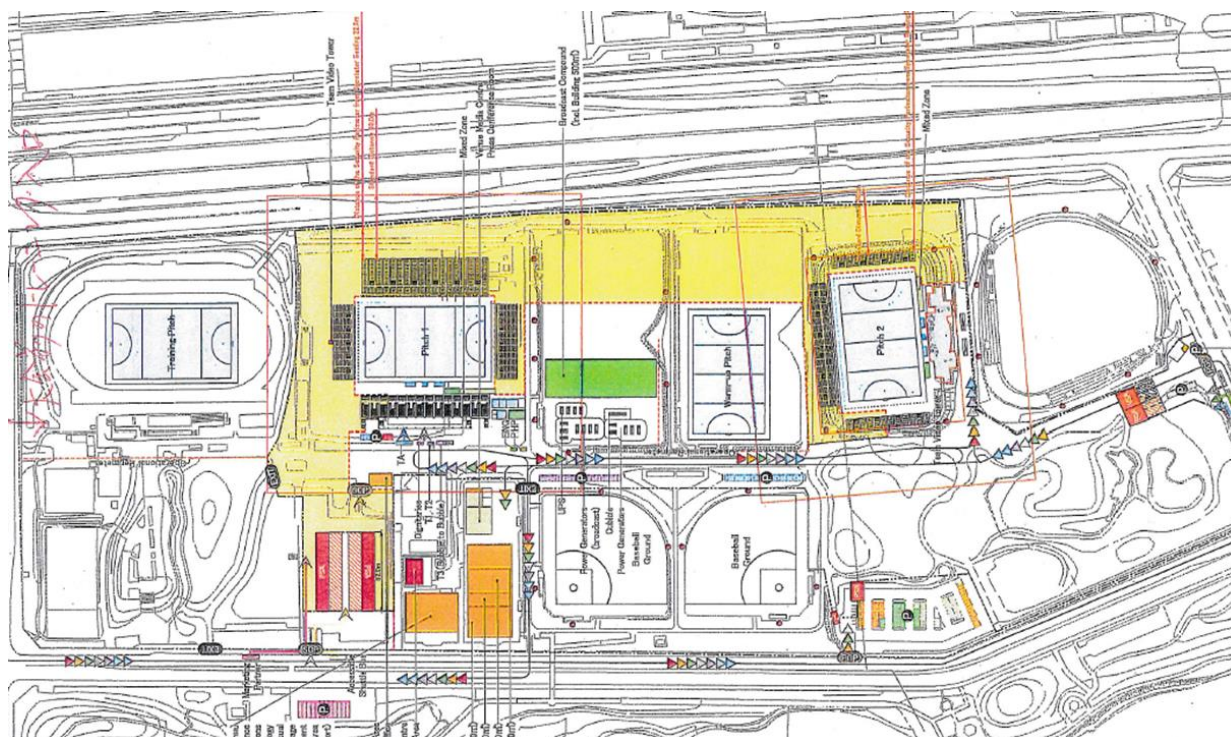
【写真1】駒沢第1球技場 サンドベースのショートパイル人工芝が敷設されている。
ラインは埋め込みで、白線がホッケー、青線がサッカーである。
屋内球技場の手前にあるのはアーチェリー用の防矢ネット設置架台である。

(2) 大井海浜公園五輪施設について

◆大井海浜公園五輪施設の建設計画について

メイン・スタジアムは品川区内にホッケー専用競技場として新設されます。サブ・スタジアムは現在の大田区にある多目的スタジアムが改修されます。当初計画ではサブ・スタジアムも新設される事になっていましたが、予算削減のため既存設備を利用、改修が検討される事になりました。現在の多目的スタジアムはピッチの長手方向が東西に配置されており、FIHは西日の影響から難色を示しましたが、将来にわたりホッケーの国際大会に利用できる事を前提に妥協したと聞いています。練習用ピッチ2面はメイン・スタジアムの南北にある陸上競技場フィールド内、野球場に設置されます。

現在、詳細設計に入った段階で、2018年から建設工事に入り、2019年に予定されているプレ大会までに完工する予定です。



【図1】大井海浜公園五輪ホッケー場構想図

構想図であり、実際の配置は変更されることもあります。

この図は左が北、右が南となっており、メイン・スタジアム、練習用ピッチは品川区、野球場の隣のサブ・スタジアムは大田区となります。

サブ・スタジアムは既存の多目的競技場を改修します。

◆大井海浜公園五輪施設の後利用について

メイン・スタジアムはホッケー専用スタジアムとして東京五輪後も残ると聞いていますが、練習用ピッチ2面は東京五輪後に現状に復される模様です。

サブ・スタジアムは東京都オリパラ準備局と後利用で最も議論になっているところです。オリパラ準備局はホッケー競技人口が少ない事が問題であるとしています。FIHはメイン、サブの2面を残すことは前提であり、それを受けて妥協もした、と強く主張しています。アジアで安全に、活況に国際大会が開催出来る都市として本施設を残す事を必須としています。

JHA・THAも2面も残すことがホッケー界の悲願としてワークしています。

(3) 東京五輪 2020 に向けての THA の活動について

THA の当面の活動は基本的には THA2017 年度活動方針（案）と重なるものである。

- 9月23日、24日の日本リーグで駒沢球技場を満員にして、成功裏に終わらせる。
 - ・ その他、THA 主催で多くのイベントを実施し、成功させる。
 - まず、2月19日のシニア&レディーズ ホッケー大会を成功させたい。
- 競技人口の拡大に努力する。

東京都オリパラ準備局は競技人口として JHA 選手登録数をカウントしている。

競技人口が全国で 10,000 人、東京都で 1,000 人（H28 年春時点）は少ないとしている。

そして、2020 年までには東京都の競技人口を 2 倍に出来るか、と問われている。

 - ・ 未登録チーム・未登録選手にもご理解をいただき、JHA 登録のお願いをする。
 - ・ ジュニア選手は JHA 登録料が無料なので、タイミングを見てご協力をお願いしたい。
- グラウンドがあれば競技人口が増える競技であることをオリパラ準備局に示したい。

そして、何とか五輪後に 2 面が残るようにしたい。
- JHA をお願いしたいのは、
 - ・ 2019 年に東京五輪施設完成後に、五輪施設を NTC（国立トレーニングセンター）とする。
→ これに対し、THA は TTC（東京トレーニングセンター）の設置を構想したい。
 - ・ 2022 年のワールドカップを日本に招致し、東京で大会を開催する。
→ 少なくとも 2022 年までは五輪施設 2 面が残る事になる。

【表2】ホッケー競技種別チーム・選手登録数(2016/12/9現在)

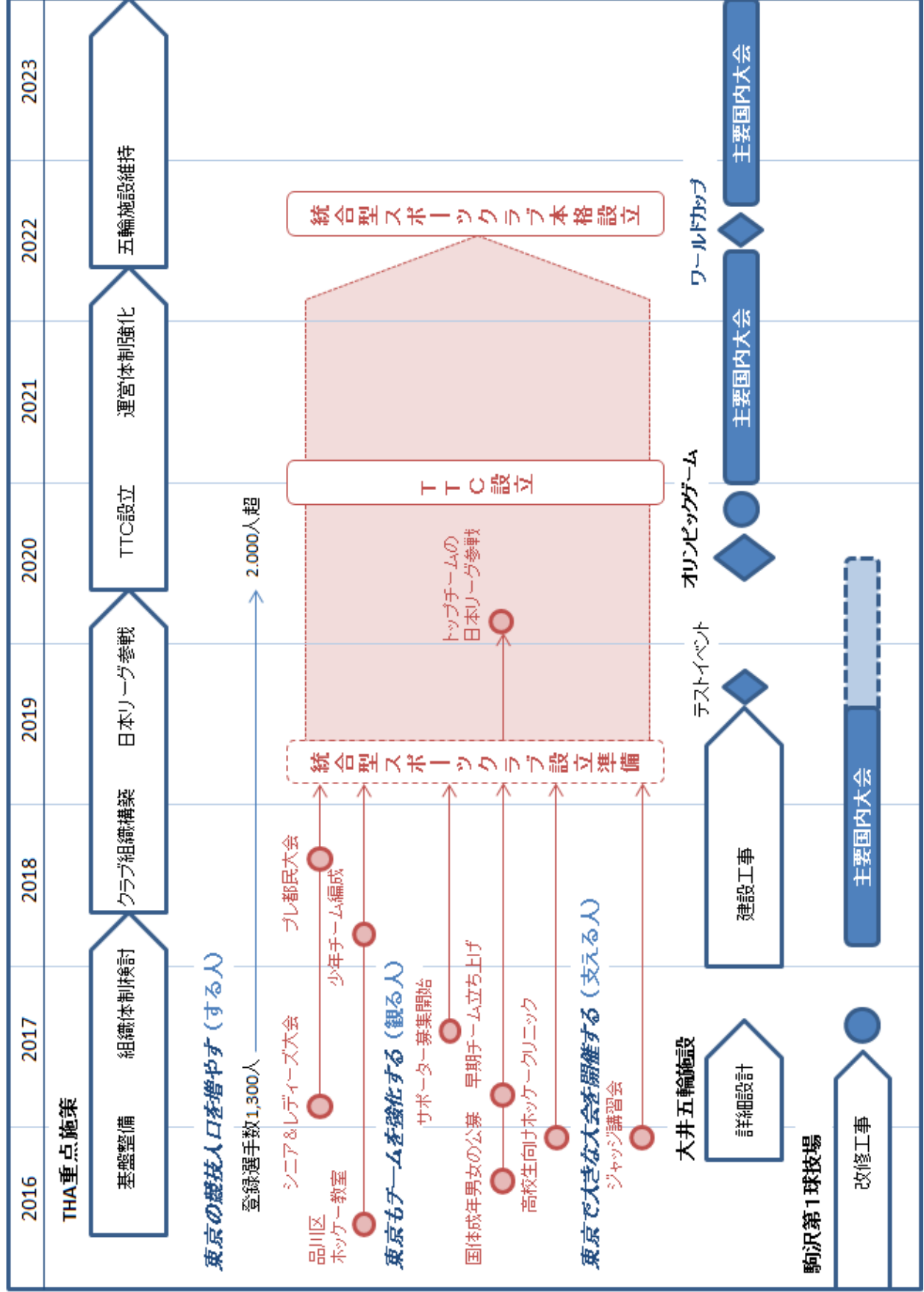
種別	選手			チーム		
	全国	東京		全国	東京	
高校	3,719	187	5.0%	169	6	3.6%
大学	1,803	654	36.3%	76	27	35.5%
一般	2,586	454	17.6%	121	19	15.7%
中計	8,108	1,295	16.0%	366	52	14.2%
中学生	1,703	0		137	0	
少年団	787	0		79	0	
個人	378	2		—	—	
合計	10,976	1,297	11.8%	582	52	8.9%

この表から言えることは、高校生は 1 学年 1,200 人を超える人数が居るが、大学生では 1 学年 450 人程度に減ってしまう事、またこの表からでは読み取れないが、東京の大学の状況を見ると、関東学生リーグ 1 部強豪校を除き、ほとんどの選手は大学からホッケー競技を始めた選手である。言い換えると、中学・高校での経験者が大学まで続けることが少ない、競技であることが問題である。

- これまでの議論を踏まえて、以下に THA 長期構想（案）を示した。

【図2】THA長期構想(案)

2017/1/25



(参考) THA 長期構想 (案) についてのコメント

ホッケーが欧州では盛んなスポーツであるにもかかわらず、日本でマイナーに留まるのは、グラウンドがないことが大きな原因です。東京五輪 2020 でグラウンドが増えることは、一般（ジュニア、シニア）のホッケー関係者にとっては何よりもありがたい事です。東京にはホッケー場というといくつかの大学のグラウンドに限られており、一般の方の利用は極めて制限されたものでした。東京は現在でも全国の競技人口の 13%を占めますが、グラウンド数の増加によって、競技人口は飛躍的に増加するものと期待しています。東京ホッケー協会（THA）、都体協はじめ、五輪施設が建設される品川区・大田区もジュニア（小・中学生）の育成に熱心に取組んでいます。THA は昨年末にシニア向けの大会を試行し盛況だった事から、今年度からシニア&レディーズ大会として定期開催を予定しています。シニア&レディーズ大会が行く行くは「都民大会」的なものとして、五輪施設を利用しジュニア、シニアのより大きな大会が、開催できることを願っています。

東京にはグラウンドも少ないですが、ホッケースタジアムは皆無です。今年、東京五輪 1964 のホッケー会場であった駒沢第 1 球技場が改修され、サンドベースですがホッケー用の人工芝が敷設されました。しかし、駒沢第 1 球技場は多目的グラウンドとして利用される予定と聞いており、ホッケーの使用頻度を高く出来そうにありません。東京で大きな大会、レベルの高い大会を五輪施設で開催し、「する人」に加えて、「観る人」を増やしてゆきたいものです。そのため THA としては「観る人」が応援できる強いチームを東京都にも作りたくと計画しています。具体的には、主に東京及び近郊の大学を卒業したトップ選手に JOC の「アスリートナビゲーション」等を利用し東京で就職してもらいます。そして彼らトップ選手を招集し、都民の代表として「日本リーグ」に参戦したいと考えています。東京ホッケー・トレーニング・センター（TTC）を五輪施設に設立し、トップチームの強化に充てる構想です。ナショナル・トレーニング・センター（NTC）も五輪施設に設置したいとしており、切磋琢磨することによるレベルアップを期待しています。またトップ選手は東京都のジュニアの育成・指導にも積極的に参画し、都民から愛され、応援される存在になってくれるものと信じています。

話が変わりますが、これまでホッケーは国体開催県で、国体後も熱心にホッケーに取り組んだ岩手県・島根県等がリードしてきました。しかし、地方の過疎化・少子化は中学・高校で単独チームを組むのが難しくなっています。他方、少子化とはいいいながら東京は子供も多く、ジュニアホッケー教室を開催すれば大勢の子供達が集まります。しかし前述のようにホッケーが出来るグラウンドが少ない事がネックとなり、継続した練習、チーム作りが困難になっています。東京の大学には強豪校・伝統校も多いのですが、強いチームは地方の高校のトップ選手が入学してきます。高校では全国で 1 学年 1,000 人余りがホッケーに取り組んでいます。大学でホッケーを続けるのはその中の約 1 割に過ぎません。大学を卒業すると彼等の多くは故郷に戻ってしまい、クラブチームで余暇にホッケーを楽しんでいるのが現状です。東京のホッケー人口の多くは、高校・大学からホッケーを始めた、いわば素人で、ホッケーは大好きですがレベルは高くありません。これからは東京からトップ選手の生まれる環境を作り出してゆかねばなりません。

これらを実現するためには「する人」「観る人」に加えて「支える人」も大切であり、その拡大・充実も図ってゆくつもりです。これらをトータルした組織として「東京ホッケークラブ」の創設も視野に入れています。ホッケーが英国から伝えられて 110 年の今日、東京にホッケースタジアムが完成することは、ホッケーの新たなスタートと認識しています。THA としてもこの機会を逃せば、ホッケーに明日はないという覚悟をもち、ホッケーの普及・発展に尽力して参ります。

3. 東京で大きな大会を開催する

オリンピック後に競技場を2面残すために競技人口の拡大が必須の条件である。

2017 駒沢利用から 2020 東京五輪後の競技場後利用に向けて東京での大会・試合を出来るだけ多く行いたい（皆さんの活動の場を広げ、競技人口・登録者数を増やしたい）。具体的な取り組みとして、シニア&レディーズ大会の隔月実施、東京都高等学校ウィンターリーグの開催、日本リーグ誘致などがある。このためにも競技役員の増員と大会運営ノウハウの向上が必要である。競技人口に対する競技役員の割合が少ないことも大きな問題である。（全国では選手に対する競技役員比率が12.7%に比して、東京は3.8%と極端に少ない。）

大会は大会運営役員、競技役員、審判、チームスタッフ・選手が揃ってはじめて成立する。ここで競技役員とはTD、TO、アンパイヤ、ジャッジを指します。次回ジャッジ講習会の開催は5月を目的に調整中ですので、奮ってご応募ください。今後は都高体連との連携は勿論のこと、関東学連、日本社会人ホッケー連盟との連携強化も必要であると考えており、各チームのご理解ご協力をお願いします。

4. 品川区、大田区での活動

- 品川区では品川区役所オリパラ課、子ども育成課、地域活動課、教育委員会、品川スポーツ協会等と普及活動を進めている。指導には藤尾香織さん等オリンピック、メトロ東京・桜杖会・FHMCの選手はじめ多くの方々の協力を得ている。
- 今後、益々イベントも増える傾向にあり、スタッフ（=委員）や協力チームを増やして行く必要があるため、皆様のご協力をお願いしたい。
- 大田区も遅まきながら活動を開始している。

品川区行事一覧(2016年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	指導者	THA
オリ・パラ課	品川区ホッケー教室	6月25日	13:30~15:30	台場小学校	ホッケー教室	10	2 ㄇロ東京・小野学園
		7月23日	13:30~15:30	小野学園	ホッケー教室	10	2 ㄇロ東京・小野学園
		9月24日	13:30~15:30	小野学園	ホッケー教室	10	2 雨天中止、有志でミニゲーム
		10月22日	13:30~15:30	しながわ中央公園	ホッケー教室	10	2 ㄇロ東京・小野学園
		11月12日	9:30~12:00	大井ふ頭中央海浜公園	ミニゲーム大会	10	2 ㄇロ東京・小野学園
	ビーチバレーフェスタ	9月18日	11:30~17:00	大井町駅前	ホッケー体験	5	1 FH
		大井どんたく祭り	8月27日	12:00~16:30	大井町駅前	ホッケー体験	5
	教育委員会	12月3日	午前中2時間	後地小学校・79名	5~6年生	10	2 東大
		1月21日	〃	富士見台中学校・70名	8年生	10	2 ㄇロ東京
		2月4日	〃	清水台小学校・86名	1~6年生	10	2 ㄇロ東京
		2月18日	〃	中延小学校・67名	3~6年生	10	2 ㄇロ東京
		3月4日	〃	荏原平塚学園・71名	7年生	10	2 ㄇロ東京
子ども育成課	ジュニアリーダー教室	9月18日	10:00~12:00 13:00~15:00	しながわ中央公園	ホッケー教室	20	5 ㄇロ東京・桜杖会
地域活動課	区民祭り	7月16日	15:00~17:00	八潮公園多目的広場	ホッケー体験	5	1 ㄇロ東京
		7月30日	15:00~17:00	城南小学校	ホッケー体験	5	1 桜杖会・FH
		8月21日	13:00~17:00	品川学園	ホッケー体験	5	1 桜杖会・FH
	青少年対策地区委員会60周年	11月13日	10:00~15:00	しながわ中央公園	ホッケー体験	5	1 ㄇロ東京
子どもフェスティバル	2月12日	13:00~15:30	南大井文化センター	ホッケー体験	7	1 ㄇロ東京	
五反田商店街	五反田フェスティバル	7月24日	10:00~15:00	五反田駅前ロータリー	ホッケー体験	5	1 山中、高木、鈴木、飯田、三橋
	浜川まつり	9月3日	13:00~16:00	浜川中学校	ホッケー体験		
品川区スポーツ協会	スポーツ祭り	10月10日	13:00~16:00	品川体育館	ホッケー体験	5	1 藤尾選手+ ㄇロ東京
	ホッケー観戦&体験	11月3日	13:30~16:00	慶應日吉	試合観戦	5	2 慶応大学女子
品川観光協会	品川区観光フェア	10月29日	11:00~16:00	大井町駅前	ホッケー体験	5	1 ㄇロ東京
		10月30日	11:00~15:00			5	1 ㄇロ東京

大田区行事一覧(2016年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	指導者	THA
オリ・パラ推進	区民スポーツまつり	10月10日	10:00~13:10	大田区総合体育館	ホッケー体験	5	1 さくらジャパ(柴田・大家)+ ㄇロ東京
仲六郷小学校	仲六郷小学校	11月19日	8:40~10:30	仲六郷小学校	小4・44名	9	1 ㄇロ東京
オリ・パラ推進	ホッケー教室	2月25日	10:00~12:00	西六郷小学校	小4~大人・50名	10	1 藤尾選手+ ㄇロ東京
		3月11日		池上第二小学校		10	

【表3】品川区・大田区の行事一覧

5. 普及活動について

(1) ジュニアホッケー教室について

2010年から始まったジュニアホッケー教室も7年目を迎え、開始当初は人集めに苦労していましたが、現在は毎回50人を超えるジュニアが集まっています。備品管理や指導は東大ホッケー部が行っておりその協力にTHAは非常に感謝しています。ジュニアの親御さんの中にはかつてのホッケープレーヤーもおり、シニア層の発掘にもなっています。

ジュニアの中の何人かは数年にわたり通ってきているお子さんもいますが、年度が変わると学校活動が忙しくなるせいか来なくなるお子さんが多数で、継続し育てるという目的は果たせていません。また、小学生班と、高校生班（学芸、成城の高校で部活を行っている高校生が大半）の中間、中学生の部がほとんど作れずそれをどうするか、毎回ミニゲームを行っているものの、例えば少年チームを結成し大会に出場する、他少年チームとの交流試合を行う、という目標設定ができていないため、「教室の継続」ということだけになってしまっているのをどうしていくかというのが今後の課題になります。

学校での部活としての「ホッケー」がほとんどない現状を考えると、協会主導の「ホッケークラブ」を作る、ということが考えられます。その場合、(怪我などの)責任の所在、指導者、グラウンドの確保、料金の問題など多くの皆様のご協力お知恵を借りなければできませんのでよろしく願いいたします。

(2) シニア&レディースホッケー大会について

THAに専門委員会設置（小島委員長）

2か月に1回の頻度で大会を行う

⇒次回は2月19日 12時より東大駒場Gにて

男子40歳以上、女子は年齢制限なし

「個人参加もOK、走れなくても大丈夫」気軽な参加を促す。

2月19日の参加予定者は以下の通りです。

<チーム参加>

- * 一橋ホッケー倶楽部 (2チーム)
- * 三田クラブ (2チーム)
- * 学習院OBチーム
- * 東大連合チーム (15名)
- * 東大女子チーム
- * 下馬クラブ (13名) 男女混成
- * Ferris OG (9名) 女性のみ
- * Brave FOX (9名) 女性のみ

<個人参加>

- * 男性 0名
- * 女性 1名

6. 国体チーム強化について

(1) 基本方針

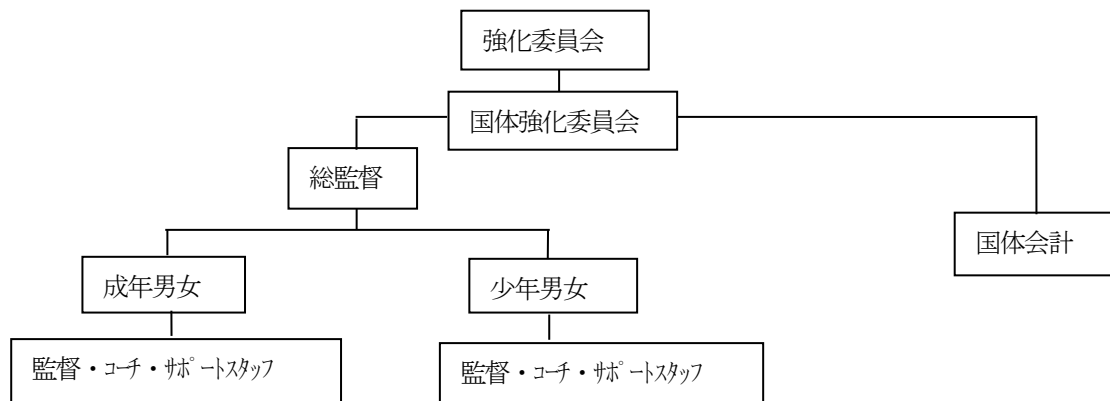
- ・ 2020年の東京オリンピックを見据え、「強い東京」となるチームづくりを構築する。
- ・ 成年男女チームは、関東予選ブロックを勝ち抜き、国体本戦を狙うことが可能な体制（選手・スタッフともに）を構築する。
- ・ 少年男女チームは、技術力・チーム力の向上させる体制を構築する。具体的にはホッケークリニックを通じて国体成年男女チームとの連携強化し、ウィンターリーグ等により試合機会を増やす。
- ・ 「強い東京」となるチームが、ホッケー界の発展のための活動を展開する。

(2) 国体に向けた方針

- ・ 2016年度と同様にTHA強化委員会の下部組織として、国体本戦への出場を目指す「国体強化委員会」を設置する。
- ・ 「国体強化委員会」の「国体強化委員」は、「THA強化委員会」において選出する。
- ・ 「監督」は「国体強化委員会」が、これまでのホッケーに関わる総合的な評価を勘案し、「監督」を任命する。
- ・ 「コーチ」は、「監督」の推薦により、「国体強化委員会」が承認する。
- ・ 「国体候補選手」は、選考会を実施しのうえ、その結果により「監督・コーチ」が選出し、「国体強化委員会」が承認する。
- ・ 「国体強化をサポートするスタッフ（国体会計・練習補佐・活動に関する支援等）」として、公募によりスタッフを選任する。

(4) 組織体制について

- ・ 「国体強化委員会」組織図及各チーム監督及びチーム世話役を下記に示す。



【図3】「国体強化委員会」組織図

【表4】各チーム監督及びチーム世話役

区分	監督氏名	所属	世話役	役職
総監督	宮田 知	明治大学監督	—	—
成年男子	太山 新一	東京ガス監督	林 正己	東京協会理事（強化）
成年女子	吉田 一男	東京農大女子監督	検討中	
※少年男子	右川 誠治	学習院高等科コーチ	検討中	
少年女子	濱田 貴子	上智大学女子コーチ	三宅 正美	東京協会理事（普及）

※少年男子監督については、状況に応じ変更の可能性あり

7. 連絡事項、その他

(1) 登録について

a. JHA 競技役員、チーム・選手登録について

平成 29 年度より、JHA 競技役員、チーム・選手登録が WEB 方式になる。詳細については未だ JHA から連絡はないが、概ね以下の流れとなる見込みである。すなわち JHA より「競技役員」「チーム・選手登録」とともに所属都道府県協会へ WEB 入力に必要な「パスワード」*1が連絡される。JHA 競技役員、チームは「パスワード」を使って JHA 登録を WEB から行い、登録料を所属都道府県協会に振り込む。所属都道府県協会は登録料の入金を確認し、WEB 画面の「金額一致」ボタンを押す*2。すると JHA に登録証作成情報が届き、JHA から登録証が所属都道府県協会に送られる。なお、金額が「不一致」の場合は WEB 画面で「不一致」が表示される。

*1 東京ホッケー協会 (THA) は「競技役員」「チーム連絡者」に「パスワード」を送る。この際「チーム連絡者」には、併せて「THA 年度登録料」の振込をお願いする。

*2 THA は「THA 年度登録料」の入金を確認し、「金額一致」ボタンを押すことになる。「THA 年度登録料」に対し、証憑となる書類 (=領収証) を用意したいと考えています。

b. THA 年度登録について

下記 EXCEL 様式で THA ホームページから 2017 年度 THA 年度登録をお願いしたい。

平成29年度		平成 29 年 月 日	
東京ホッケー協会 正会員登録申込書			
この度、東京ホッケー協会に 登録をいたしたく、所定事項を記して申請いたします。			
東京ホッケー協会規約を遵守し、ホッケーの健全な発展に貢献することを誓約します。			
チーム名			
種別		性別	
(ふりがな)			
代表者			
e-MAIL			
* 代表者は文字通りチームを代表する者で、部長若しくは監督を登録してください。代表者の方には監督、連絡者と連絡が取れない場合や、チームに重大な影響のある連絡を取らせていただくことがあります。			
(ふりがな)			
監督			
e-MAIL			
* チーム代表者が監督の場合は、監督名に「代表者」と記載して下さい。			
(ふりがな)			
議決権行使者			
e-MAIL			
* 議決権行使者は、THA総会において正会員として議決権を行使する者をいいます。			
(ふりがな)			
連絡者			
e-MAIL			
* 連絡者には、THAからの照会に対して直ちに回答できる者を記入してください。			
以上			

【図 4】 THA 正会員登録申込書

年度登録、新規登録、変更登録の区別を記入していただく。

「議決権行使者」は THA 総会で正会員として議決に加わられる方です。

「連絡者」は文字通り THA からの連絡先として、JHA 登録パスワード等を受け取られる方です。

記入された EXCEL 表は、THA ホームページの指示するアドレスに送付していただきます。

この EXCEL 表は、2月8日に THA ホームページからダウンロードできます。3月10日までに送付をお願いします。

(2) 財務状況について

a. THA 収支概況（平成 29 年 2 月 4 日現在）

<収入の部>

予算通り、あるいは予算を超える収入があり、堅調に財源確保ができています。

- ・都体協交付金増額(国体候補) 、新規助成金獲得(五輪候補強化)
- ・品川大田五輪関連新規受託（五輪・普及委員会の活動順調）
- ・チーム増（専修大学女子）

<支出の部>

事務局費・関ブロ経費の節減ができ、予算枠内で運営ができています。

- ・品川区会議室利用による会議費の縮減、振込手数料・郵送費の節約努力
- ・HP 初期経費の償却方式を業者と調整し、単年度経費を圧縮
- ・強化委員会の協力により、関東ブロック大会への選手派遣費を節減
- ・関東協会会費は 1 万円増額

<来年度の課題>

- ・都体協交付金の使途制約が厳格になっているため対策が必要
- ・今後の大会運営に備えた資金計画が必要
- ・正会員数の維持・拡大

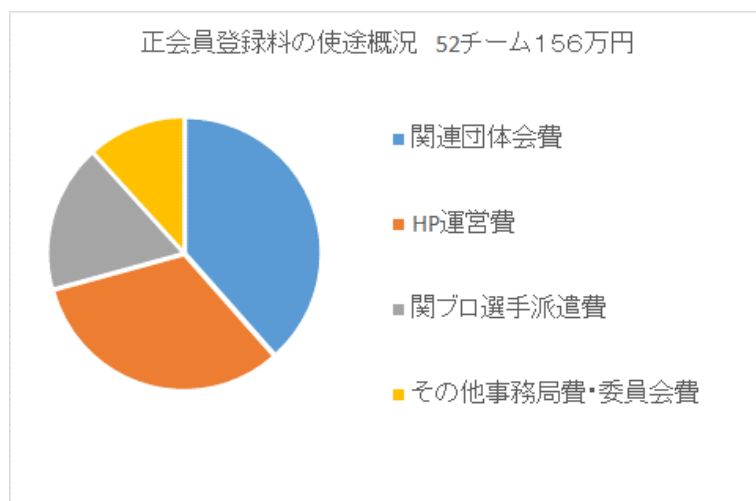
b. 正会員登録料の使途概況

<正会員登録料総額>

- ・52 チーム× 30,000 円 1,560,000 円

<正会員登録料を充当する支出項目>

- ・関連団体会費 600,000 円 都体協・JHA・関東協会
- ・HP 運営費 503,742 円 HP 運営費・会議費・交通費他
- ・関ブロ選手派遣費 273,400 円 参加費・保険・弁当代
- ・その他事務局費・委員会費 182,858 円 会議費・交通費・通信費・事務用品費他



【図 5】 THA 正会員登録料の使途について

(3) 関東ホッケー協会について

各都県協会から理事 1 名計 8 名で構成されている。各協会から拠出金を賜り、国体関ブロを軸に各関東大会に補助金を支給する事業を行う。また、競技役員育成も事業のひとつである。

H27～H28 年度は東京が幹事協会である。関東協会選出の役員は寺本 JHA 理事、近藤ブロック審判長、清水ブロック競技長である。

8. 質疑応答

○大学 OB

- ・近所に外国人が住んでいて、毎週ホッケーの練習をしている。
 - ・サイトに英語のパートを設置してほしい。普及に繋がるのではないかな。
- (A：協会活動ではないが東大ジュニアクラブで外国人を受け入れている→一川)
(A：東大 HP には英語サイトはまだないので対応したい →下平)

○大学 OB

- ・THA 登録情報等を有効に活用し、所属チーム監督全員に声掛けする等して、国体成年チームメンバーを広く集めていただきたい。

○大学 OB

- ・長期構想(案)に記載の、「少年チーム編成」は、2018 年度と言わずもっと前倒しで進める必要があるのではないかな。
- A：品川区関係で要望があり 2017 年度から計画が持ち上がる可能性がある。お手伝いをお願いしたい。経費の面で対策を検討しておく必要がある。
品川区事業の教室の場合は区の予算が付くが、個別のチームについては、保護者が経費を負担することになる。→正田

○大学 OB

- ・現在学連でも駒沢での大会開催を検討しているが、1,000 人規模の大会をさばく実力が無い。運営母体作りに社会人の力も借りたい。
- A：大会運営能力という面で、THA でも当面「日本リーグ」の心配をしている。
運営面だけでなく、観客動員も、競技場を残すための大きな要素である。→菅野
- A：シニア&レディースの参加者に運営参加のお願いをしてみてもどうか。
ホッケーを楽しみたい人に運営に携わってもらおうのが良いと思う。→西澤

○大学 OG

- ・協会からの情報連絡に SNS を利用したらどうか。
- (情報の受け手としては「HP を見に行く」よりも簡単に情報を得ることができる)

○大学 OB

- ・スマイルホッケー教室を手伝っている。人集めに大変な時がある。
- (多くのチームから人を出してもらうための仕組みを考えてほしい)
- A：SNS が有効かもしれないが詳しくないので、若い人達に協力して頂きたい→菅野

○大学 OB

- ・統合型スポーツクラブを是非推進して欲しい。実現の可能性とタイムテーブルは？
- イギリスではスポーツクラブの活動が盛んで幅広い年代の人がホッケーに親しんでいた。
イギリスでは地域名とホッケーのキーワードで地域のホッケーサイトが簡単に検索できるので、容易に近所のホッケークラブを探すことができた。
- A：統合型スポーツクラブについては、目標のレベルで、「夢」として実現に力を貸してほしい。
大井五輪ホッケー施設をホッケー競技に残すための方策として時期を設定している。→一川

○大学 OB

・(普及関係・イベントや教室の案内を発信する方策として) 広報に関するアイデア
フジテレビ 6:20『きらびと』などを利用するのはどうか。

(他に、ミニコミ紙?の利用についても提案あり、ただし有料とのこと)

A: 検討していきたいが、予算の余裕がないので工夫が必要かと思う→正田

○大学 OB

・駒沢の活用について。

マスターズ大会の誘致を検討できないか。

○大学 OB

・駒沢を近隣の大学・高校チームが利用したいときの申し込み方法は?

A: 都議会を経て公式サイトから申込できるようになる見込み

ラクロスなど他競技との競合となり競争は厳しいと思われる。

○大学 OG

・駒沢グラウンドの利用案内が公示されたらすぐにチームに教えてほしい。

以上



【写真2】第3回連絡会の様子